



農大二中進路通信

令和 7 年3月7日(金)
第19号 農二進路指導部

3学期期末テスト終わる！



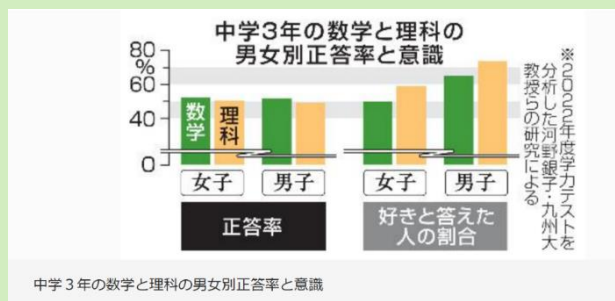
3学期期末テストが終わり、先週あたりにテストの返却がされ、「終わった～(悲)！」「がんばった甲斐があった！」などテストごとに大きな喜び、そして、悲しみがあったものと思います。テストが返ってくると点数や平均点に目が行きがちですが、本当に大切なのは「結果」ではなく「次への活かし方」です。例えば、平均点が60点で、自分の点数が60点だったとしましょう。それで「安心」してしまうのは危険です。なぜなら、40点分の課題がまだあるということに気づかなければならないからです。逆に、平均点が高いクラスで自分の点数が低かったとしても、それがすぐに「ダメ」なわけではありません。そもそも、平均点というのは周囲のレベルによって変わるものです。ダメな集団の中での高得点や、できる集団の中での低得点に一喜一憂することに意味はありません。大切なのは、今できないことをそのままにせず、「できるようになるには何をすべきか」を考え、実行することです。

そのために最も重要なのが復習です。テストが終わった後こそが、本当の学びのチャンスです。間違えた問題をそのままにせず、解き直してみる。解説を読んで理解する。それでも分からなければ先生や友達に聞く。こうした努力の積み重ねが、次の成長につながります。点数に振り回されるのではなく、自分の成長を意識して行動していきましょう。努力を重ねた先に、真の実力が身についていきます。皆さんのさらなる成長を期待しています！

理数系は男子だけのものじゃない

みなさんは「数学や理科は男子の方が得意」というイメージを持っていますか？ 実は、それは思い込みすぎません。文部科学省が 2022 年度に行った全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)の結果を、九州大学の研究チームが分析したところ、中学 3 年生の数学と理科の正答率は、女子の方がわずかに高かったことが分かりました。数学の全国平均正答率は男子が 51.8%、女子が 52.1%、理科では男子が 49.1%、女子が 50.3%と、男女差はほとんどありませんでした。しかし、数学や理科への「興味・関心」については、男女で差がありました。「数学が好き」と答えたのは男子の約 65%に対し、女子は約 50%と低めだったのです。これは、「女子は理数系が苦手」という思い込みが影響している可能性があります。理数系の学力は男女で差がないにもかかわらず、興味や関心の差が進路選択に影響を与えているかもしれません。でも、理数系の分野には、科学者、エンジニア、医師、プログラマーなど、未来を支える魅力的な職業がたくさんあります。

「女子だから…」という思い込みにとらわれず、好きなことや得意なことを大切にして進路を考えてみましょう！ 我々はみなさんの可能性を広げるために応援しています。



「考える力」の重要性

東大入試問題から学ぶ「考える力」の重要性について考えよう！

2025年2月25日から、国公立大学の2次試験(前期日程)が実施されました。その中でも特に注目を集めたのが東京大学の入試です。東大の入試問題は完成度が高く、多角的な視点から受験生の能力を問う内容となっており、日本の大学入試に大きな影響を与えています。



今年の東大入試では、1次試験の成績が一定以上でなければ2次試験に進めない難易度が上がり、よりハイレベルな受験生が集まりました。そのため、2次試験の問題も非常に難しく、特に英語の「自由英作文」では、英語力だけでなく、社会的な視点や幅広い教養が求められる問題が出題されました。

たとえば、今年の英作文では「意見を言わないことは同意を意味するか」というテーマが出題されました。これは単なる英語の知識だけでは解けず、社会や国語の知識、日々のニュースを追う姿勢が試される問題でした。このような問題に対応できるかどうかは、暗記学習ではなく、日々の経験や考える習慣が大きく影響します。

この問題のテーマは、私たちの日常生活にも関わっています。例えば、生徒会活動やクラスの話し合いで「何か意見はありますか？」と問われても、多くの人は発言を控えます。しかし、それが本当に「同意」を意味しているのでしょうか？ 実際には、意見はあるものの、人前で発言しにくいという場合も少なくありません。

また、この考え方は政治やビジネスの世界でも重要です。例えば「サイレント・マジョリティ (silent majority)」という言葉があります。これは、意見を表明しない大多数の人々を指し、政治やマーケティングの分野でよく使われます。企業においても、顧客の不満が表面化していなくても、満足しているとは限らず、より良い商品を提供するためには積極的に声を拾うことが求められます。

このように、東大の入試問題では単なる知識ではなく、考える力が問われています。これは大学入試だけでなく、将来社会で活躍するためにも必要な力です。

中等部の皆さんは、普段からニュースを見たり、本を読んだりする習慣をつけましょう。社会問題について考え、自分の意見を持つことが大切です。授業や学校行事でのディスカッションを大切に、意見を言葉にする練習をしましょう。英語の勉強においても、単なる暗記にとどまらず、自分の意見を表現する力を磨くことが重要です。



東大の入試問題は、英語に限らず、他教科においても「考える力」を養うヒントを与えてくれます。知識を蓄えることはとても大切ですが、その知識自体はAIにはかないません。そうした知識をどう活かすかが人間である私たちが意識しなければならないところでしょう。全員が東大にチャレンジできるくらい、今からしっかり学習だけでなく、いろいろな活動に取り組んでいきましょう。

伝統文化学習

3月4日・5日、本校では日本の伝統文化体験を実施し、1年生は華道、2年生は茶道を学びました。普段の学校生活では触れる機会の少ない日本の文化を、実際に体験する貴重な時間となりました。華道では、花の生け方一つひとつに意味があり、全体の調和を考えながら美しさを表現することを学びました。花を活かすためには無駄をそぎ落とし、自然の姿を大切にすることが求められます。この考え方は、私たちの生活にも通じるものがあります。一方、茶道では、一つひとつの所作に心を込め、相手をもてなす精神を体験しました。お茶を点てる動作や道具の扱い方には、日本人が古くから大切にしてきた「礼儀」や「感謝」の心が表れています。短い時間ではありましたが、皆さんもそれぞれの文化の奥深さを感じ取ることができたのではないのでしょうか。

近年、「グローバル人材」の重要性が強調されています。英語を話せることや異文化に触れることはもちろん大切ですが、真の国際人として世界で活躍するためには、まず自国の文化を深く理解することが不可欠です。自分の国の文化を知らずに、他国の人々と本当の意味で交流することは難しいでしょう。例えば、海外で日本について聞かれたとき、自信を持って語ることができるでしょうか。自国の文化を理解し、それを誇りに思うことは、異文化理解の第一歩となります。未来を担う皆さんには、世界に目を向けながらも、まずは自国のことをよく知る姿勢を持ってほしいと思います。今回の経験をきっかけに、日本文化への興味を深め、やがて世界にその魅力を発信できる人材へと成長していきましょう。



第61回卒業式

3月1日(土)、本校体育館メインアリーナにおいて、第61回卒業式を挙行了しました。式次第は、卒業証書授与、賞品および賞状授与、校長式辞、理事長祝辞、在校生送辞、卒業生答辞と進み、634名が卒業いたしました。生徒一人ひとりが目標をしっかりと持ちながら、この3年間、学習や部活動に励んできました。その中で、卒業生を代表して狩野琴子さんが答辞を述べてくれました。答辞では、多くの農二での思い出を語るとともに、友人、保護者、そして教職員への感謝の言葉がありました。特に、不本意ながら入学したものの、結果として「農大二高に入学して正解だった」と力強く語ったことが印象的でした。人生において、自分が望んでいた結果が正解となることもあれば、不正解となることもあります。しかしながら、一生懸命努力し、自分で選択した道であれば、どのような結果であっても正解にしていけることが大切です。彼女の言葉からも、農大二高で勉強や部活動に真剣に取り組んだことで、最初は納得できなかった選択が、やがて「正解」へと変わっていったのだと感じました。つまり、大切なのは「どこで生きるか」ではなく、「どう生きるか」なのです。



中等部には多くの行事があります。それを楽しめるかどうかは、自分たち次第です。これは勉強においても同じことが言えます。多くの課題が出されますが、結果として宿題を提出できない人もいます。英語に関して言えば、「スタディサプリ」やオンライン英会話など、自主的に取り組む課題もあります。やらないのは自由ですが、それは「できるようになる機会」を自ら放棄していることにもなります。すべては自分次第です。どうか、皆さんが持っているすべてのチャンスを無駄にせず、力をつけ、充実した学校生活を送ってほしいと思います。

重要

NI 探究成果発表会のお知らせ

3月15日(土)午前中の1~4限(9:10~12:40)、中学1・2年生および高等部1年Ⅲコース、2年Gコースによる「NI 探究成果発表会」を開催します。班別発表は、全員が発表するポスター発表形式で行います。また、代表班の発表は、先日行われた班別発表において優秀と評価された班がスライドを用いて発表します。中学1・2年生の保護者の方々は自由にご参加いただけます。ご都合がつかましたらぜひご来場いただき、生徒たちの活動をご覧になるとともに、探究へのアドバイスをいただければ幸いです。

9:10~9:50(40分)

中学1年全員、Ⅲコース1クラス発表、2年Gコース発表

10:00~10:40(40分)

中学2年全員、Ⅲコース1クラス発表、2年Gコース発表

10:55~12:40(105分)

代表者による全体発表会

今後の予定

3月11日(火)

球技大会

3月13日(木)

中等部自宅学習日

3月15日(土)

NI DAYⅡ NI 探究成果発表会

3月17日(月)

弁当の日

3月22日(土)

修了式